

市では、令和5年3月に「第2期高島市スポーツ推進計画」（令和5年度からの5年計画）を策定しました。

市民の皆さんが、年齢や体力・能力に応じ、高島で気軽にスポーツを楽しむことができる「生涯スポーツ社会の実現」を目指します。

その実現に向けて、本計画では、自ら体を動かして行う「する」スポーツだけでなく、スポーツ観戦などの「みる」スポーツ、指導者やボランティアなどの運営側として「ささえる」スポーツ、スポーツの魅力や効果などを「しる」スポーツを加え、4つの視点でスポーツ参画者の拡大を図ろうとしています。

この特集では皆さんがそれぞれのライフスタイルに合わせてスポーツを身近に楽しんでもらえるように、市内での活動状況などをご紹介します。



「みる」スポーツ

市民の皆さんがスポーツへの興味・関心が高まるように参加を呼びかけるとともに、国スポ・障スポ大会の情報と併せてさまざまな競技の魅力や選手の魅力など、スポーツ活動のきっかけにつながる情報発信を行うことで機運の醸成に努めます。

特に、スポーツ観戦は、選手の活躍に感動したり、白熱した試合展開にドキドキしたり、さまざまな感情が生まれ、気分転換することができます。

ここでは、国際大会で活躍されている高島市出身のアスリートをご紹介します。



「高島で、だれもが・いつでも・気軽に」スポーツを楽しめるように！

☎ 市民スポーツ課 ☎ (25) 8560



「第2期高島市スポーツ推進計画」は市のホームページでご覧になれます。↑

特集 2

VOICE

内田 弦大さん

トリアスロン競技で平成28・29年日本学生トリアスロン選手権を2連覇、令和4年アジアスプリント選手権では優勝することができました。今年からイギリスを拠点に世界に挑戦しています！



VOICE

落合 晃さん

8月の全国高等学校総合体育大会陸上競技800mに出場し大会新記録で初優勝。その後、初めての国際大会となる東アジアユース競技大会陸上競技1500mでも優勝し、今後は日本記録の更新を目指します。



「する」スポーツ

ウォーキングをきっかけに、運動に関心がない人や関心があっても取り組みにくい人を対象に、運動の習慣化を図ります。特に、スポーツ推進委員会が実施する「里湖で地域を結ぶウォーキング」は、令和7年開催の国スポのデモンストラティブスポーツで、これを好機に更なる普及に取り組みます。また、幼少期の子どもが楽しく体を動かす運動の習慣化を図れるよう、各機関が連携し、運動遊びの機会の充実に努めます。

ここでは、市内の活動事例をご紹介します。



「ささえる」スポーツ

市内では今後、国スポ・障スポ大会、全国高等学校総合体育大会、ワールドマスターズゲームズ2027関西と大規模大会が3年連続で開催されます。

ボランティアとして参加した方々が、大会後も継続して地域に根付いた活動ができるよう、引き続き活動の場の提供に努めるとともに、ボランティア活動を通してスポーツをささえる文化の定着につなげていきます。

ここでは、市が行うスポーツイベントをサポートしてくれる人たちをご紹介します。

VOICE

山田 博司さん

ボランティアを通して参加者のお世話をすることで元気をもらいます。そして、ワンチームになってスポーツを楽しむことや仲間が増えることがやりがいにつながっています。



VOICE

コミュニティスペースFlat 服部 哲也さん

高島市スポーツ少年団主催「楽しい運動あそび体験教室」に、多くの方にご参加いただきました。運動あそびをきっかけに運動好きな子どもたちが増えてくれたらうれしいです。



VOICE

TSCハンドボールアカデミー

令和元年に市内の小学生を対象に開講したTSCハンドボールアカデミー。昨年には中学生クラスがスタートし、今年の中体連の夏季大会にクラブチームとして初めて出場しました。



VOICE

高島クラブ トウインクルスターズ

8月のJAPAN CUPチアリーディング日本選手権大会で小学生高学年チームが優勝を果たしました。元気・勇気・笑顔でスポーツをがんばる人にエールを送っています。



「しる」スポーツ

市の広報誌やホームページをはじめ、SNSを通して、スポーツ情報を発信します。

また、本市ゆかりのアスリートのインタビューなどを掲載し、多くの市民がスポーツに興味を持つきっかけとなり、スポーツを身近に感じてもらうような情報発信に取り組みます。